



コミュニティ しずおか

2019
4月
No.154



糸を紡いで人とひととがつながる場

つむつむ会
(南伊豆町)

▼人口8000人程の南伊豆町の中心を担う下賀茂商店街に共同体の新しい一つの形としての店舗「giFt」がある。そこでは、対価を決めず“お気持ち”や得意なスキルなどで支払う形の対価交換で催しが行われている。ここで月1回開催されている、糸紡ぎワークショップ「つむつむ会」は、糸紡ぎに親しんでいた吉澤さんと羊毛作家の只佐さんが移住先の南伊豆町で出会い意気投合。「糸を紡ぐ楽しい時間を皆さんと共有できたらいいな」と平成30年4月から始まった。

▼移住者を主に、主婦や織物に携わっている方、プラっとおしゃべりしに立ち寄る方等自由な雰囲気で開催。特徴は「参加費は”対価交換”」と「糸を紡ぎながら交流する時間を大切にしている」こと。情報交換や地元住民との交流、その中で出てくるおしゃべりがアイデアとなり活動の発展につながっている。また、活動の財源である綿は、各自自宅で育てているものと、仲良くなった2軒の農家さんからの寄付で賄っている。

▼代表の一人、吉澤さんは「一人なら起こらなかった出会いや発見があった。仲良くなった農家の方に渡した種が綿になって戻って来るとは思いもよらなかった」という。今後は畑作りや親子教室なども考えている。去る2月12日にお邪魔してみた。集中していると3時間があっという間。集中力が切れると糸も切れてしまう。一人ではなかなか出来ない作業も、皆で集まってやることで改めて糸紡ぎの楽しさや人と繋がる喜びを感じた時間だった。

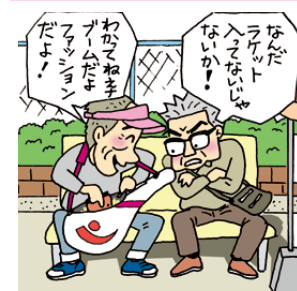
◇代表：只佐 忍さん 吉澤真樹さん(問合せ・080-1115-3211)

【情報提供・山根美果】

Topics トピックス

地域訪問記 P2
心を込めた配食サービス(磐田市)

クローズアップ P6
「笑顔の出前」で地域を元気に(島田市)



コミック
のりづき・りえ



心を込めた配食サービス ～継続して20年余、今も続くその秘訣とは～

磐田市

磐田市ボランティア連絡協議会豊岡支部
給食グループ

お弁当で高齢者の見守り

梅の香りただよ2月下旬。梅の名所として知られる「豊岡梅園」のある豊岡地区で、地域のボランティアによる配食サービスが20年以上続いている団体を訪問した。笑顔の素敵な5人の女性と磐田市社会福祉協議会の職員さんから話を伺った。

始りは旧豊岡村時代

平成の大合併後は豊岡地区社会福祉協議会の事業として引き継がれた。対象者は食事作りが困難な65歳以上の独居、身体の不自由な方、高齢者世帯に

1食300円で月2回配食サービス事業を行い、40人前後が利用中。

配食サービスは、3つのボランティア団体が行っており、老舗の給食グループは毎月1回担当している。会員数は33人。60代から80代までの女性が活躍。多くの会員に経験してもらうため、代表は2年任期で交代。また、元民生委員をやっていた方が多いのが特徴で、なんとなく給食グループに入る流れができており、そのおかげか「担い手不足」には困っていない。

5つの班が当番制で献立作成と食材調達し、調理と配送を全員で行う。翌月の献立はみんなが料理し

ている間に作成。弁当の徴収は配達者が立替払いし、お届け時に利用者から徴収する等、会員の負担を減らし効率よく作業するための工夫がされている。

サービスの内容はまさに手作り感満載

ごく普通の家庭料理とはいいいながらも、色取りを考え、四季の野菜を取り入れ季節感のあるものを心がけているとのこと。利用者には、11時半から12時には届くように配慮しているが、配送の時間が遅れると心配され電話がかかってくる。(それだけ期待されているんだなあ)

お弁当を配達していてちょっとした異変に気づいたときは、市社協に報告し、包括支援センターや民生児童委員の方々が様子を見に行き、その後の支援につなぐ地域の見守り活動にもなっている。

もう一つ特色として、夏休みに豊岡北小学校と南小学校から小学生ボランティアを募り、会員と一緒にお弁当を渡しているとのこと。子どもたちからの声掛けと笑顔は、いつもにも増して大好評！子どもたちのパワー恐るべし！（孫からもらっているような感じかなあ）小学生にとっても良い経験となり、次の年も続けて参加する子も多いとのことである。また、北小学校の子どもたちからの手紙や手作り小物のプレゼントを小学生に代わってお弁当配達時に届けている。

その他独自に年1回、利用者の方々と一緒にお弁当を食べてレクリエーションをする「高齢者の集い」の開催や一人ひとりに毎年心のこもった年賀状を書いている。



大好評！小学生ボランティア



皆でお昼を食べ楽しい時を過ごす「高齢者の集い」

今の思いと継続している秘訣

伊藤さんは「年齢を超えて顔見知りの方が増えたことがうれしい」、深田さんは「活動に参加する中で、自分が活性化された」、川合さんは「若い人からのパワーをもらい、地域をより知ることができた」とのこと。続いて継続の秘訣を聞くと「無理をしない、できる範囲のことを」「お互いの批判はしない」「新しいメンバーを入れるときは、この人ならいいと思う人に声をかける」と答えられた。(皆さんとても笑顔で自然体なところがいいんだなあ)

きっと、これからも地域のコミュニティづくりのよき手本として続けていけるのではないかと、とてもうれしく感じた訪問でした。



右から、伊藤晴恵さん、深田智子さん、川合玲子さん、社協の大杉昌弘さん、伊藤みち代さん、伊藤祥予さん

◇代表：深田智子さん

(問合せ・豊岡地区社協 090-2264-8428)

【情報通信員・安部詠司】



レポート：高村 光 編集委員



裾野市

ブラタグチ (すその街歩き)

ブラタグチ愛好会



埋もれていた裾野の歴史を知るまち歩き

▼裾野市には、市民にもあまり知られていない近代の歴史的遺産というべきものが多く残されている。それは建築物であったり、土木構造物であったり、文化・芸術作品であったりするが、普通の市民にとって解説なしには認識できないごくありふれた風景の中にある。

▼平成27年、裾野市文化財保護審議委員の田口さんが講師を務めた講座「裾野の歴史学び隊」を受講した“田口ファン”が中心となり結成。市内の歴史遺産や自然環境等を歩きながら考察し、地域理解を深めるまち歩きを開催している。ブラタグチとは、まち歩きの解説者である田口さんの名前からNHKの人気番組をもじったネーミングである。

▼本家の番組同様に驚きと感動を呼ぶ発見の連続で、まち歩き愛好者からは絶大な信頼を得ている。市内を中心にやっているの、参加者が飽きないように新しいコースを企画するなど工夫をしており、リピーターが多いのも大きな特徴である。

◇代表:田口建一さん(問合せ・090-3153-8507) 【情報提供・志田瑞代】

伊豆市

地元の宝狩野城跡を守り伝えたい

狩野城の会



毎年11月に開催する「狩野城まつり」での餅つき

▼伊豆市天城湯ヶ島地区にある「狩野城」は、平安時代末期の武将・豪族であり、狩野氏の祖である狩野茂光の居城であった。この城跡の管理整備をしているのは、平成20年に発足した地元の有志(20歳〜78歳)40人から成る「狩野城の会」である。活動は城跡のある本柿木農村公園の管理、狩野城祭りの開催、史跡案内人養成や視察交流等。多くの人に地区の宝である狩野城の魅力を知ってもらおうと励んでいる。

▼活動資金は、会費の他に休耕田を借りてもち米を栽培し、各イベントでの販売、また地元にある共同炭焼き窯を使い炭の販売をする等、助成金だけに頼らない活動が素晴らしい。

三田代表に会の自慢を聞いてみた「皆さん、積極的に参加してくれる人が多く、人の良さも自慢です」とおっしゃった。いつか、全国の狩野氏に関わる人たちを招待し、「狩野氏サミット」の開催をしてみたいそうだ。

HP <http://www4.tokai.or.jp/kanojou>

◇代表:三田登史さん

【情報提供・伊藤 博】

藤枝市

みんなで一緒に温かいご飯!子ども食堂「はっぴい〜と」

西益津地区
社会福祉協議会



食後、地域の大人と過ごす子どもたち

▼平成30年5月から毎月第3土曜日に西益津地区交流センターで、地域の子どもや家族等に食事や居場所の提供を通じて地域の人たちと触れ合い、子どもが健やかに育成される環境をつくることを目的に子ども食堂「はっぴい〜と」が始まった。

▼スタッフは、ふれあい会食会「あおいの会」、食推協、主任児童委員、民生児童委員、地区内の福祉施設職員、一般ボランティア等20人程。運営は市の助成、地区社協補助とフードバンクや食材の差し入れ等で行っている。平均利用者数は、子ども45人、大人15人。高校生以下は無料、大人は300円。地区センターだよりで募り、参加は予約制なのでロスはまず出ない。

▼食事の後は、地域の大人と一緒におしゃべりやゲーム等で楽しいひと時を過ごしてもらう。将来、この食堂を利用した子どもたちが大人になった時に、地域の子どもたちに手を差し伸べられるような良い連鎖になることを期待している。

※地域の方からの食材提供、人的協力等の寄付に感謝しています!!

◇代表:松永 功さん(問合せ・054-641-8862) 【情報提供・大石幸雄】



島田市

深夜の山寺大賑わい 智満寺鬼祓い

島田市千葉地区
住民と智満寺



堂内を暴れる鬼。読経の法力で追い払う

▼去る1月7日、島田駅から北へ約7キロ、千葉山の山中にある千葉地区（22世帯45人）の天台宗の古刹「智満寺」で、安土桃山時代（1573～1591）から伝わる「鬼払い」が行われた。

▼午後10時、読経が続く中本堂は真っ暗になる。けたたましく鉦の連打が響く中、松明をかざし暴れる赤、青、白の鬼が現れ参拝者に襲い掛かる。これを退治することで1年間の無病息災、厄除け祈願をする新年にふさわしい伝統行事である。今年は約200人が参詣した。

▼今日まで、お寺と地区住民が一体となり継承されてきた。小さな集落ではお寺の行事＝地域の行事でもあると住職は言う。現在、主な担い手は70代となった。近年は、元住民に声を掛け手伝いにきてもらっているそうだ、その一人岡村さんは、「幼いころから他地区とは何かが違うことを感じてた。定年後、声を掛けられ担い手となったが、伝統行事の継承は自分に課せられたものだと思っている」と力強く話してくれた。

◇ご住職：北川教裕さん（問合せ・0547-35-6819）【情報提供・池田 弘】

浜松市

花作りによる地域活性化活動

神原町花の会



ポピーは、4月中旬から5月末頃まで観賞できる

▼神久呂協働センター東側に春はポピー、秋はコスモスを咲かせる見事な花畑と花壇がある。その管理をしているのが「神原町花の会」会員45人、平均年齢70歳の団体である。きっかけは、神原町自治会が制定したまちづくり構想の一環として平成18年に「花のまちを目指し花作りを通じて地域コミュニティの輪を広げよう」と町内の有志で活動を開始。

▼当初、借りた休耕地に種を蒔いたが全く芽が出なかった。原因は、20年以上も休耕地だったため土が酸性になっていたこと。気づかず水が足りないから？と夜遅くにも水を掛けていたことも今では笑い話である。会員同士手探りしながら花作りの経験を積み、現在は後処理が比較的に楽なコスモスとポピーが定番となった。

▼花畑の花はルールを守れば無料で摘み取ってよいと、その時期になると県内各地から1800人程度の見学者が訪れる。一般はもちろん、子どもたちや高齢者施設の方も訪れ、ニコニコと花を楽しんでくれる姿は活動への励みになるそうだ。

◇代表：相佐末吉さん（問合せ・053-485-4580）【情報提供・佐藤勝彦】

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨 ・ 目 的	月 日
1	松崎町	幻のポンカン見学	松崎稲作塾	伊豆・松崎の農家の魅力を感じてもらい、生活を豊かにする。	平成31年1月22日（火）
2	沼津市	地域の歴史を振り返り地域活性化！	第一地区地域活性化会議	自治会有志で地域の歴史などを振り返り、地域活性化につなげていく。	2ヶ月に1回程度の会合
3	小山町	一年中あったかいフラで心癒されてます！	ケ・カイマル・フラサークル	フラダンスを楽しみながら心身の健康に役立ててもらいたい。	練習日：3回 年数回施設訪問
4	静岡市	花壇造りを通じて、東静岡駅周辺の美化（緑化）推進に貢献	マークスフラワーチーム	東静岡駅周辺の美化（緑化）推進に貢献する。	毎年3回 春・秋・冬の日曜日 季節の花を植替え
5	掛川市	花を増やして郷土愛の醸成を育む活動	原谷まちづくり協議会 環境美化部会	美しい花を増やして地域住民に安らぎや郷土愛の醸成を育む。	月1、2回
6	掛川市	元気！ニコニコ祭り	中区まちづくり協議会 教育文化部	地域住民が、自由に参加できる文化祭を実施する。	年1回
7	湖西市	青空学級は、子どもと家族の成長の場	湖西市内青空学級運営協議会	交流の場で子どもの親がメンバーで担い手となり運営活動。	月1、2回 3教室合同開催 年4回

クローズアップ

創意工夫や新しい手法を活かしている
団体を紹介します。

スカットボールを
楽しむ皆さん
人が集まると
会話が生まれる



古新聞を利用した
ゲーム

左から、会員の杉村さん、
榛葉さん、北川さん



…「笑顔の出前」で地域を元気に…

かなやスポ・レクの会（島田市）

汽笛の響く島田市金谷地区。島田市は「健康増進計画」により市民のより良い健康生活のバックアップを考えている。今回は出前健康講座「かなやスポ・レクの会」の代表北川さん、榛葉さん、杉村さんの活動を伺ってきた。

失敗を糧に…

発足のきっかけは平成24年に金谷で行われた日本レクリエーション協会が募集した「レクリエーションサポーター養成講座」で、基礎講座と企画・運営・実技等の実践講座を学んだ。当初30人いた受講生は実践講座までに16人となりこのメンバーで平成27年「かなやスポ・レクの会」を発足し、学んだ知識・実技を生かしてリアル野球盤大会やハイキング等の活動を始めた。地区社協を会場にし、月一の高齢者対象の教室を開催。しかし、3～4か月で人が集まらなくなり閉鎖の憂き目を見た。

何が問題なのか!?メンバーで話し合いを重ねて問題点を洗い出した。金谷地区の交通機関問題もあり会場まで行きたくても行けない人が多いことが判明した。「ならばこちらから参ろう!」と要請のある場所へ出向いての出前講座を考えつくと、かなりの手ごたえが感じられ現在の活動につながっている。

五感を使って健康増進

転機は平成29年島田市金谷地区社協の健康づくり部会の発足に伴って地区社協会長より協力依頼があり、平成30年4月から金谷地区内3か所の高齢者居場所の定例会に出向き、主催者に代わって講座をすることで主催者の手助けをしている。

内容は、しまトレ（島田市歌に合わせて行う）とご存知「しぞ〜かでん伝体操」休憩後に楽しい会話とともに輪投げ、吹矢など体を使った遊びや脳トレ、懐かしい歌や季節の行事・食事の話で五感を使って語らいの場を設けている。特徴的なのは一つ一つの動作・行動の効能を伝えているところ、機能回復効果があると聞けばやらないわけにはいかなのが人情だ。

楽しく元気に!健康の伝道師

杉村さんは「スポ・レクがいなくても居場所の利用者でやっていけたら…」と目標をあげている。

毎回、手を変え品を変えゲームを考えている榛葉さんは「始めはプレッシャーを感じていたが、今はとても楽しく活動をしている。お金をかけずに身近にあるもので(古新聞など)ゲームを考えるのは最高!」

今後の課題を代表の北川さんにお尋ねした。「どうしたら男性を出てこさせるのか!!」男女半々の会場もあるが圧倒的に女性上位なのが現在の居場所の現状のようだ。しかし、男性である北川さんの楽しげな様子を垣間見ること、少しずつ男性の数も増えていくのではないだろうか?「皆さんが元気になることで、自分も元気で楽しくなる」という「かなやスポ・レクの会」の共通認識があれば金谷地区の健康寿命はまだまだ伸びるであろう。

◇代表:北川 明さん(問合せ・090-4195-1909)

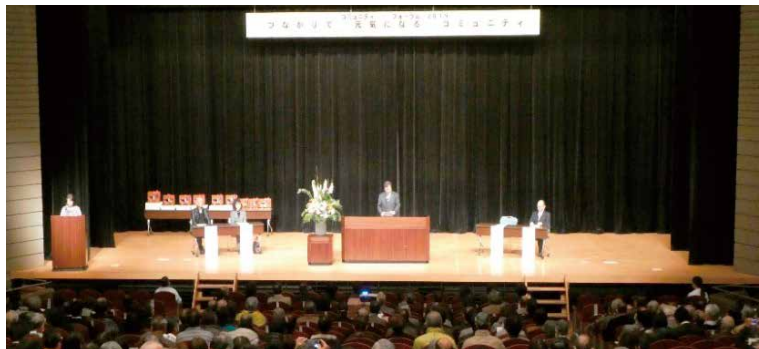


レポート：中村弘美 編集委員

コミュニティ・フォーラム 2019 を開催しました

“つながりで元気になる コミュニティ”

2019年2月16日（土） 10時～15時
掛川市文化会館シオーネ



今年のテーマは

今年度のメインテーマは「つながりで元気になるコミュニティ」とし、少子高齢化が進むなかコミュニティづくりへの積極参加、地域活動（社会参加）へのサポートを促し、元気な地域を取り戻すためには地域活動をどうしていけば良いかを目的に開催。

コミュニティ活動賞の表彰式もあり、当日はお天気にも恵まれ、県内各地から多くの方が参加してくださいました。

パネルディスカッション

西部地域で活躍している方々をパネラーに迎え「コミュニティを元気にするコツや工夫」について議論しました。パネラーの意見を引き出してくださったのは当協議会推進専門委員の神谷先生。初めてとは思えない素敵なコーディネーター役を務めていただきました。



コミねっと会員作品展

果たして何人の方が出展してくださるだろうとドキドキで始めた作品展。心配無用、当日は会場いっぱい作品が並び、来場者の方々を楽しませていただきました。

基調講演

歴史作家、歴史研究家として活躍されている河合 敦氏に「江戸時代の豪商や庶民から学ぶ地域活性化」と題して御講演をいただきました。

アンケートでも、「非常にわかりやすい説明で、主旨が良く理解できました。地域活性化のヒントも参考になった」と感想をいただきました。





編集・発行
地域情報をお寄せ下さい!

静岡県 コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
総合社会福祉会館3階

TEL 054-251-3585

FAX 054-250-8681

URL <http://www.sizcom.jp>

E-mail sizucom0829@po.across.or.jp

地域活動に関心のある方へ!

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

★コミュニティカレッジ 地域づくりについての知識や手法を学ぶ



コミュニティづくりの大切さ、地域での話し合いの進め方などコミュニティ活動を進める上で必要なスキルや知識を学ぶ講座です。座学だけではなく、先進的な活動団体への訪問研修も行います。

地域で活動されている方や地域活動に関心

のある方はぜひ御参加ください。

なお、申込受付等の詳細につきましては、関係機関等を通じて別途改めてご案内します。



※講義内容については後日確定します。

回数	予定日	10:00~12:00	13:00~16:00	会場
1	6月29日(土)	・開講式 講義「コミュニティとは」	講義「連携・協働とは」	JR静岡駅構内 パルシェ 貸会議室 (静岡市葵区)
2	7月6日(土)	講義「地域の活力」	講義「ささえあうコミュニティ」	講義「話し合いの進め方」
3	7月中	活動集団現地訪問(県内3カ所選定)		
4	8月3日(土)	ワークショップ「コミュニティ実施計画づくり」		
5	9月7日(土)	10:00~11:30 記念講演「未定」	11:30~12:00 閉講式	県総合社会 福祉会館 (静岡市葵区)

★コミュニティ活動集団育成事業

趣 旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

指 定 の 期 間: 毎年度4月から翌年度3月までの2年間とします。

活動経費の助成: 募集集団数 15 集団。活動経費として1集団当たり、初年度7万円、次年度3万円を助成します。

活動集団の指定: 申込みに対してその内容を審査し、指定します。

募 集 開 始: 4月中旬

スポーツ安全保険

文化活動も
加入出来ます

対象となる事故 **団体活動中の事故／往復中の事故**

保 険 期 間 **2019年4月1日の午前0時から2020年3月31日午後12時まで**

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

公益財団法人 **スポーツ安全協会 静岡県支部**

〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1

TEL **054-262-3039**

電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<https://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

スポーツ安全保険

検索

インターネットからも加入受付
を行っております。詳しくは、
ホームページをご覧ください。



携帯電話から
資料請求ができます。